RICOH

ファクス設定ガイド

IPSiO SP C301SF

ご使用の前に、この使用説明書を最後までよくお読みの上、正しくお使いください。また、この使用説明書が必要になったとき、すぐに利用できるように保管してください。安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『安全上のご注意』をお読みください。

◆ファクス設定の流れ

1 設定項目を確認する

ファクスを使用するために必要な設定値を確認します。

2 本機を接続する

ご使用の環境に応じて本機を接続します。

3 電話回線の種別を選択する

ご使用の電話回線サービスに合わせて、回線の種別を設定します。下の「◆回線種別の確認方法」を参照して、回線の種別を確認してください。

4 電話回線への接続方法を選択する

電話回線への接続方法を選択します。

5 外線発信番号を設定する

本機が構内交換機(PBX)を経由して電話回線に接続されているときは、外線発信番号を設定します。

6 日時を設定する

本機の内部時計の日時と、日時の表示形式を設定します。

7 受信モードを選択する

お使いの条件に応じて、受信モードを選択します。下の「◆受信モードの確認方法」を参照して、どのモードを選ぶか確認してください。

1 設定項目を確認する

ファクス機能をご使用になるには、以下の項目を設定します。あらかじめ設定値の内容を確認してください。

◆ファクス設定項目一覧

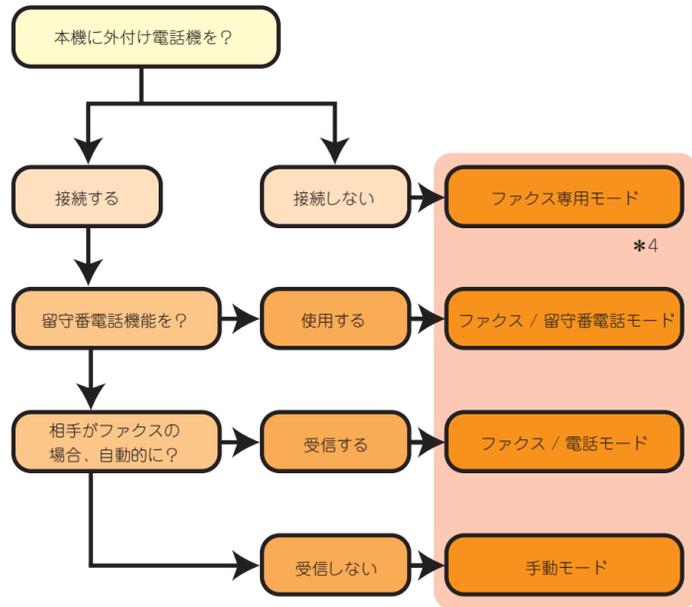
	設定項目	設定値
A	**接続環境** ご使用の環境に応じた接続をします。	□ 一般電話　□ ADSL　□ ISDN　□ ひかり電話 □ 内線電話
B	**回線種別** ご使用の電話回線サービスに合わせて、回線の種別を選択します。	□ トーン(プッシュ回線) □ パルス 10PPS(ダイヤル回線)　□ パルス 20PPS(ダイヤル回線)
C	**接続方法** 電話回線への接続方法を選択します。	□ 外線(公衆交換電話網[PSTN]に接続する場合) □ 内線(構内交換機[PBX]に接続する場合)
*1	**外線発信番号** 外線への発信番号を設定します。	□ 外線アクセスコード(　　　　)4桁まで入力できます。 例として、社内の内線電話から外線に電話をかけるときに、電話番号の先頭に数字を付けて電話をかけるような回線をご使用の場合に設定します。 設定例：0
D	**日付の設定** 本機の内部時計の日時と、日時の表示形式を設定します。	●日付形式　年(YYYY)、月(MM)、日(DD) □ MM/DD/YYYY　□ DD/MM/YYYY □ YYYY/MM/DD ●時刻形式 □ 12時間形式　□ 24時間形式 (AM / PM)
E	**受信モード** ご使用の条件に応じて、受信モードを選択します。	□ ファクス専用　□ 手動　□ ファクス / 電話 □ ファクス / 留守番電話
*2	**発信元登録** 本機のユーザー名とユーザーファクス番号を設定します。	□ ユーザー名　半角英数字/半角カナで20文字まで入力できます。 (　　　　) □ ユーザーファクス番号　20桁まで入力できます。 (　　　　)

*1 接続方法で内線を選択した場合(PBXを経由して電話回線に接続する場合)は、外線発信番号を設定します。

*2 ユーザー名とユーザーファクス番号は、本機の電源を最初に入れた時に登録を行います。
詳しくは、『かんたんセットアップ』を参照してください。登録した内容を変更する場合は、「◆発信元の情報を登録する」を参照してください。

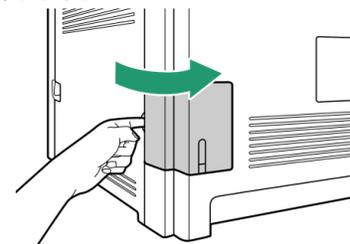
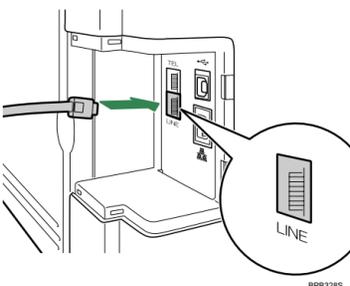
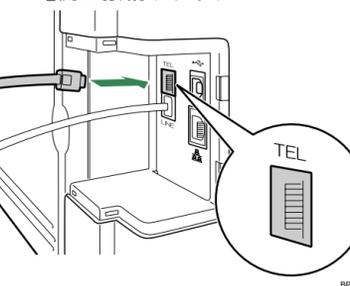
◆回線種別の確認方法(B)

*3「177」(天気予報)にかける前に、本機に電話線を接続して、回線種別を[パルス　20PPS]に設定してください。「2 本機を接続する」、「3 電話回線の種別を選択する」を参照してください。
そのあと、本機の【ファクス】キーを押してから【オンフック】キーを押し、テンキーで「177」と入力します。つながった場合は、本機のスピーカーから音声が聞こえます。確認後は、【クリア/ストップ】キーを押してください。

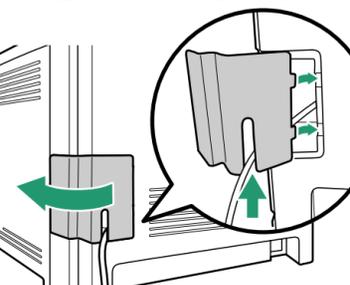
◆受信モードの確認方法(E)

*4 外付け電話機を接続した状態でも、ファクス専用モードを選択できます。詳しくは、『操作ガイド』「受信モードを選択する」を参照してください。

2 本機を接続する

本機をAで確認した環境に合わせて接続してください。

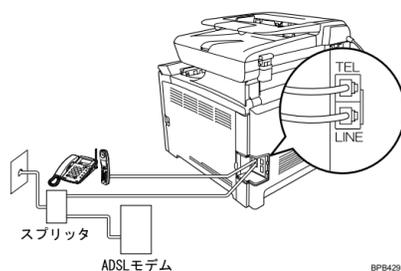
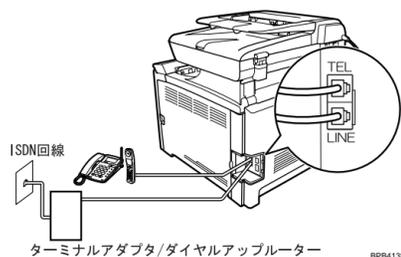
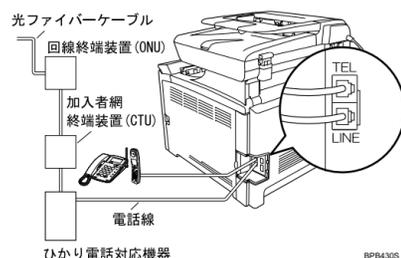
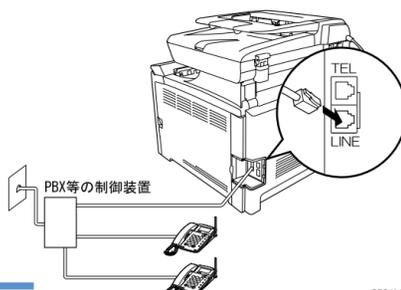
1 本体の右側面にあるケーブルカバーを外します。

2 電話線を「LINE」側に接続します。

3 外付け電話機を取り付ける場合は、「TEL」側に接続します。

補足

❒ 外付け電話に搭載されている機能で、本機と互換性のないものについては、ご使用になれません。

4 ケーブルカバーの切りかき部にケーブルを通します。カバーの突起部2箇所を本機の穴に合わせ、カバーを取り付けます。

◆接続例(一般電話以外)

補足

- ❒ 下記接続は代表例であり、すべての接続を保証するものではありません。詳しい設定・接続方法に関しては、スプリッタ・ADSLモデム・CTUなどの取扱説明書を参照してください。
- ❒ 利用するプロバイダにより、モデムやスプリッタが一体型になっている場合があります。
- ❒ ブランチ接続(並列接続)はしないでください。一つの電話回線に複数台の電話機を接続すると送信した画像品質が劣化したり、正しく送受信できない場合があります。
- ❒ お住まいの地域によっては配線方法や接続機器が異なる場合があります。
- ❒ PBX等の制御装置に接続する場合は接続装置に設定が必要となります。
- ❒ ファクス接続が可能であることを事前に通信業者にご確認ください。

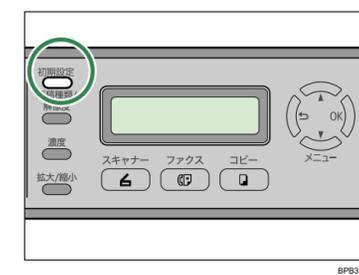
● ADSL環境への接続例

● ISDN環境への接続例(電話番号が1つの場合の接続例)

● ひかり電話環境の接続例

● 内線電話環境の接続例

3 電話回線の種別を選択する

電話回線の種別を、Bで確認した種別に合わせて回線の種別を選択してください。

電話回線には、プッシュ(トーン)回線とダイヤル(パルス)回線があります。また、ダイヤル回線には10PPSと20PPSの2種類があり、地域によって異なります。

重要

- ❒「◆回線種別の確認方法」を参照して、ご使用の電話回線サービスをあらかじめご確認下さい。それでもご不明な場合は、サービスを提供している電話会社にお問い合わせください。
- ❒ 本機はナンバー・ディスプレイに対応していません。ナンバー・ディスプレイを契約している回線に本機を接続してFAX受信を行う場合は、[ファクスセッテイ]の[ナンバーディスプレイ]を[ケイヤク シテイル]に変更してください。詳しくは、『操作ガイド』「ファクスの機器設定」を参照してください。

1【初期設定】キーを押します。

2【▲】【▼】キーを押して[カンリシャセッテイ]を選び、【OK】キーを押します。

3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し【OK】キーを押します。

工場出荷時に、管理者パスワードは設定されていません。管理者パスワードを設定することをおすすめします。

4【▲】【▼】キーを押して[カイセン センタク]を選び、【OK】キーを押します。

5【▲】【▼】キーを押して、Bで確認したご使用の電話回線サービスに合った種別を選択し、【OK】キーを押します。

6 設定を確認してから、【↩】キーを押します。

7【クリア/ストップ】キーを押して初期画面に戻ります。

参照

❒ 管理者パスワードは、[カンリシャセッテイ]の[カンリシャメニューロック]で変更できます。詳しくは、『操作ガイド』「管理者設定」を参照してください。

つづく

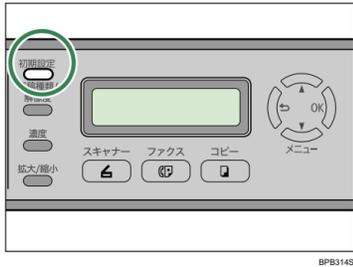
4 電話回線への接続方法を選択する

電話回線への接続方法を、Ⓒで確認した方法に合わせて選択してください。

電話回線への接続方法には、公衆交換電話網(PSTN)と構内交換機(PBX)の2 つがあります。

重要

❒ 一般的なご家庭などでご使用の場合は、[ガイセン]に設定してください。

1【初期設定】キーを押します。

BPB314S

2【▲】【▼】キーを押して[カンリシャセッテイ]を選び、【OK】キーを押します。

3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し【OK】キーを押します。

工場出荷時に、管理者パスワードは設定されていません。管理者パスワードを設定することをおすすめします。

4【▲】【▼】キーを押して[ナイセン センタク]を選び、【OK】キーを押します。

5【▲】【▼】キーを押して、Ⓒで確認した接続方法([ナイセン]か[ガイセン])を選び、【OK】キーを押します。

6 設定を確認してから、【↩】キーを押します。

7【クリア/ ストップ】キーを押して初期画面に戻ります。

■ [ガイセン]を選択した場合

「6 日時を設定する」に進んでください。

■ [ナイセン]を選択した場合

「5 外線発信番号を設定する」に進んでください。

参照

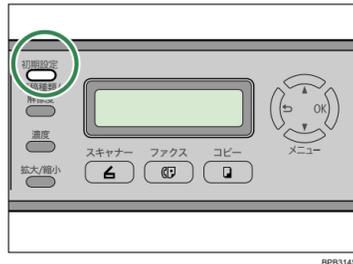
❒ 管理者パスワードは、[カンリシャセッテイ]の[カンリシャメニューロック]で変更できます。詳しくは、『操作ガイド』「管理者設定」を参照してください。

5 外線発信番号を設定する

PBXを経由して電話回線に接続するときは、外線発信番号を設定してください。

重要

❒ ご使用のPBXの設定に合った外線発信番号を設定してください。設定が合っていないと、外線へのファクス送信を正常に行えない場合があります。

1【初期設定】キーを押します。

BPB314S

2【▲】【▼】キーを押して[カンリシャセッテイ]を選び、【OK】キーを押します。

3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し【OK】キーを押します。

工場出荷時に、管理者パスワードは設定されていません。管理者パスワードを設定することをおすすめします。

4【▲】【▼】キーを押して[ナイセンアクセスコード]を選び、【OK】キーを押します。

5「◆ファクス設定項目一覧」で確認した外線アクセスコードをテンキーで入力し、【OK】キーを押します。

6 設定を確認してから、【↩】キーを押します。

7【クリア/ ストップ】キーを押して初期画面に戻ります。

参照

❒ 管理者パスワードは、[カンリシャセッテイ]の[カンリシャメニューロック]で変更できます。詳しくは、『操作ガイド』「管理者設定」を参照してください。

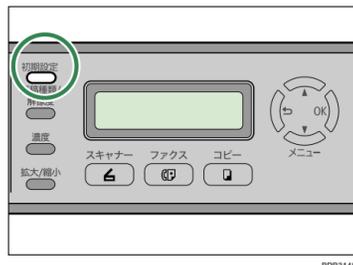
6 日時を設定する

本機の内部時計の日時と日時の表示形式を、Ⓓで確認した内容に合わせて設定してください。

- 日付
  年、月、日を設定し、日付形式(MM/DD/YYYY、DD/MM/YYYY、YYYY/MM/DD)を選択します。
- 時刻
  時刻形式(12 時間形式または 24 時間形式)を選択し、時、分(および、12 時間形式を選択した場合は、AM/PM)を設定します。

補足

❒ 存在しない日付は設定できません(例えば、年月を2008年4月に設定した場合、日付に31日を設定することはできません。)

1【初期設定】キーを押します。

BPB314S

2【▲】【▼】キーを押して[カンリシャセッテイ]を選び、【OK】キーを押します。

3 パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し【OK】キーを押します。

工場出荷時に、管理者パスワードは設定されていません。管理者パスワードを設定することをおすすめします。

4【▲】【▼】キーを押して[ニチジ セッテイ]を選び、【OK】キーを押します。

5【▲】【▼】キーを押して[ヒヅケ セッテイ]を選び、【OK】キーを押します。

6 テンキーで現在の西暦を入力して、【OK】キーを押します。

【▲】【▼】キーを使って、数値を1ずつ変更できます。

7 テンキーで現在の月を入力して、【OK】キーを押します。

【▲】【▼】キーを使って、数値を1ずつ変更できます。

8 テンキーで現在の日付を入力して、【OK】キーを押します。

【▲】【▼】キーを使って、数値を1ずつ変更できます。

9【▲】【▼】キーを押して日付形式を選び、【OK】キーを押します。

10 設定を確認してから【OK】キーを押します。

11【▲】【▼】キーを押して[ジコク セッテイ]を選び、【OK】キーを押します。

12【▲】【▼】キーを押して[24 ジカン ケイシキ]か[12 ジカン ケイシキ]を選び、【OK】キーを押します。

13 [12 ジカン ケイシキ]を選んだ場合は、【▲】【▼】キーを押して[AM]か[PM]を選び、【OK】キーを押します。

14 テンキーで現在の時間を入力して、【OK】キーを押します。

15 テンキーで現在の分を入力して、【OK】キーを押します。

16 設定を確認してから、【OK】キーを押します。

17【クリア/ ストップ】キーを押して初期画面に戻ります。

参照

❒ 管理者パスワードは、[カンリシャセッテイ]の[カンリシャメニューロック]で変更できます。詳しくは、『操作ガイド』「管理者設定」を参照してください。

7 受信モードを選択する

本機のファクス受信モードを、Ⓔで確認したモードに合わせて選択してください。

◆ファクス専用で使う場合

外付け電話機や留守番電話機が接続されていない場合は、ファクス専用モードを選択してください。

- **ファクスセンヨウ(ファクス専用モード)**
  すべての着信に対して、自動的にファクス受信を開始します。

◆本機に外付け機器を取り付ける場合

外付け電話機や留守番電話機が接続されている場合は、以下のいずれかのモードを選びます。

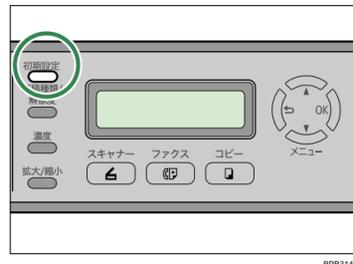
- **シュドウ(手動モード)**
  電話がかかってきたら、外付け電話機で応答します。ファクスが送られてきていたら、手動でファクスに切り替えて受信します。
- **ファクス/デンワ(ファクス/電話モード)**
  電話がかかってきたら、外付け電話機を上げて【ファクス】キーを押し、【クリア/ストップ】キーを押して通話します。ファクスが送られてきていたら、自動的に受信します。

重要

❒ 外付け電話機を接続した場合でも、呼び出し音は本機のスピーカーから鳴ります。本機には外付け電話機の呼び出し音を鳴らす機能がありません。

- **ファクス/ルスバンデンワ(ファクス/留守番電話モード)**
  受信モードがファクス/留守番電話モードのときは、外付けの留守番電話機が応答し、電話の場合はメッセージを録音します。ファクスの場合は、自動的にファクスを受信します。

1【初期設定】キーを押します。

BPB314S

2【▲】【▼】キーを押して[ファクスセッテイ]を選び、【OK】キーを押します。

3【▲】【▼】キーを押して[ジュシン セッテイ]を選び、【OK】キーを押します。

4【▲】【▼】キーを押して[ジュシン モード]を選び、【OK】キーを押します。

5【▲】【▼】キーを押して、Ⓔで確認した受信モードを選び、【OK】キーを押します。

6 設定を確認してから、【↩】キーを押します。

7【クリア/ ストップ】キーを押して初期画面に戻ります。

重要

❒ ファクス/留守番電話モードでは、外付け留守番電話機を、呼び出し音5回以内に応答するように設定してください。呼び出し音6回目で自動的にファクス受信が開始されます。

以上でファクスの設定は終了です。

参照

❒ ファクスのかんたんな使い方は『クイックガイド』を参照してください。また、その他の操作方法や設定方法について詳しくは『操作ガイド』を参照してください。

◆発信元の情報を登録する

発信元の情報(ユーザーファクス番号とユーザー名)の設定方法について説明します。ここで設定したユーザーファクス番号とユーザー名が、本機のファクス番号とファクス名になります。

本機の電源を初期投入した時に、本機のユーザーファクス番号とユーザー名の登録を行ないますが、必要に応じて登録した内容を変更できます。

1. **【初期設定】キーを押します。**
2. **【▲】【▼】キーを押して[カンリシャセッテイ]を選び、【OK】キーを押します。**
3. **パスワード入力を要求されたときは、テンキーでパスワードを入力し【OK】キーを押します。**
   工場出荷時に、管理者パスワードは設定されていません。管理者パスワードを設定することをおすすめします。
4. **【▲】【▼】キーを押して[ユーザー セッテイ]を選び、【OK】キーを押します。**
5. **【▲】【▼】キーを押して[ユーザーファクスバンゴウ]を選び、【OK】キーを押します。**
   すでに登録されている内容を変更するには、ここで【クリア/ストップ】キーを押して設定をクリアしてください。
6. **テンキーで本機のファクス番号(最大20桁)を入力し、【OK】キーを押します。**
   0〜9までの数字、「+」、およびスペースが使用できます。
   「+」を入力するには、テンキーの0を2回続けて押します。もう一度押すと「0」に戻ります。
   「00」と入力するには、テンキーの0を押して、【▼】キーを押してから、もう一度テンキーの0を押します。
7. **【▲】【▼】キーを押して[ユーザーメイ]を選び、【OK】キーを押します。**
   すでに登録されている内容を変更するには、ここで【クリア/ストップ】キーを押して設定をクリアしてください。
8. **テンキーで本機のファクス名(半角英数字/半角カナで最大20文字)を入力し、【OK】キーを押します。**
   数字、文字、および記号が使用できます(漢字・ひらがなは使用できません)。
9. **【クリア/ストップ】キーを押して、初期画面に戻ります。**

参照

❒ 文字入力について詳しくは、『クイックガイド』「文字を入力する」を参照してください。

❒ 管理者パスワードは、[カンリシャセッテイ]の[カンリシャメニューロック]で変更できます。詳しくは、『操作ガイド』「管理者設定」を参照してください。

お問い合わせ先

故障・保守サービスに関するお問い合わせ

故障・保守サービスについては、サービス実施店または販売店にお問い合わせください。
修理範囲(サービスの内容)、修理費用の目安、修理期間、手続きなどをご要望に応じて説明いたします。
転居の際は、サービス実施店または販売店にご連絡ください。転居先の最寄りのサービス実施店、販売店をご紹介いたします。
http://www.ricoh.co.jp/support/repair/index.html

操作方法、製品の仕様に関するお問い合わせ

操作方法や製品の仕様については、「お客様相談センター」にお問い合わせください。

FreeDial **0120-000-475**
FAX 0120-479-417

- 受付時間: 平日(月〜金)9時〜 18時
  土曜日 9時〜 12時、13時〜 17時
  (祝祭日、弊社休業日を除く)
- 通話料は無料です。
- 音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。トーン信号が出せない電話機の場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレーターに接続します。
  ※対応状況の確認と対応品質の向上のため、通話を録音をさせていただいております。
  http://www.ricoh.co.jp/SOUDAN/index.html

株式会社リコー
東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222
http://www.ricoh.co.jp/

2008 年 10 月 JA M018-8511